

医療ヘルスケアに係わる国内外の動向と 取組みに関するセミナー —医療ヘルスケア分野のイノベーションを推進していくために—

- 主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会 医療ITイノベーション戦略研究会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約100名

概要

当協会では、医療ヘルスケア分野におけるICTの利活用による医療ヘルスケア産業の革新と、新市場の創出に向けた活動を推進していくため、平成23年度に「情報・産業社会システム部会」の傘下に「医療ITイノベーション戦略研究会」を設置し、様々な活動に取り組み始めております。

今般、こうした活動の一環として、当該研究会の企画により、以下のプログラムにて関連する機関等における有識者の方々のご協力を得まして、表記のセミナーを下記のとおり開催致しました。

冒頭に一般社団法人 電子情報技術産業協会 長谷川常務理事より、医療ITイノベーション戦略研究会の発足の経緯並びに活動概要について説明があり、その後、独立行政法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 ディペンダブルワイヤレス研究室 李還幫氏より、ボディエリアネットワークの国際標準に採用されたIEEE802.15.6BANの規格構成、定義、仕様について解説いただきました。

また、BANの利点を生かした医療ヘルスケア分野において想定される活用例についてご講演をいただきました。

続いて、KDDI(株) 技術統括本部 技術開発本部 宇佐見正士氏より、ジャパン・クラウド・コンソーシアムにおける各種健康サービスをクラウドを用いて連携させることによるサービスの継続率を高めるための施策等の



健康・医療クラウドの取組みについて紹介いただき、更に、独立行政法人産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 身体適応支援工学グループ 井野秀一氏より、少子高齢社会におけるQOLを支えるライフサイエンスに関する研究開発について医療ヘルスケア分野に加え介護支援のための研究開発の事例、他分野研究部門との連携による新たな製品開発への取組みについてご講演いただきました。

最後に、独立行政法人 日本貿易振興機構 海外調査部 桜内政大氏より、医療機器産業に係わる米国・欧州・アジア等のグローバルな動向に加え、中東並びにインドの最新医療情報、ビジネスの可能性についてご講演をいただき、大変有意義な内容となりました。

プログラム

- **ボディエリアネットワーク (BAN) の国際標準と医療ヘルスケア分野において想定される活用例について**
李 還幫 氏 (独立行政法人 情報通信研究機構 (NICT) ワイヤレスネットワーク研究所 ディペンダブルワイヤレス研究室 主任研究員/電気通信大学客員教授)
- **ジャパン・クラウド・コンソーシアム (JCC) における健康・医療クラウドの取り組みについて**
宇佐見正士 氏 (KDDI(株) 技術統括本部 技術開発本部 技術戦略部長)
- **少子高齢社会におけるQOLを支えるライフサイエンスに関する研究開発の動向について**
井野秀一 氏 (独立行政法人 産業技術総合研究所 (AIST) ヒューマンライフテクノロジー研究部門 身体適応支援工学グループ 研究グループ長)
- **医療機器産業に係わる米国・欧州・アジア等のグローバルな動向と海外ビジネスの可能性について**
桜内政大 氏 (独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) 海外調査部 課長代理)



長谷川常務



李還幫氏



宇佐見正士氏



井野秀一氏



桜内政大氏